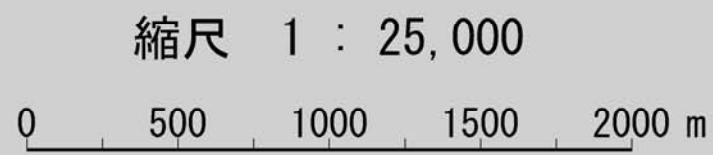
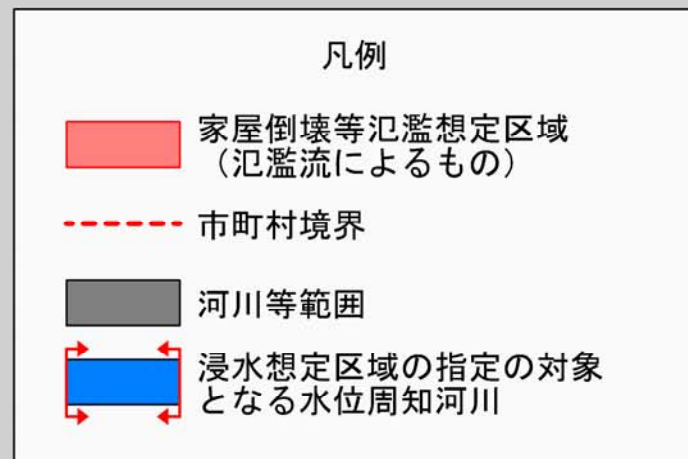


# 境川水系境川洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流））



1. 説明文

(1) この図は、境川水系境川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。

(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の境川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により境川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の影響に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していることと、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていることから、この区域の境界は厳密ではなく、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものとなっています。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 熊本県土木部河川課

(2) 公表年月日 令和元年5月31日

(3) 対象となる水位周知河川  
・境川水系境川（実施区間）  
左岸：玉名市大字春日山123番1地先の南大門橋上流端から海まで  
右岸：玉名市大字川原123番6地先の南大門橋上流端から海まで

(4) 算出の前提となる降雨 境川流域の24時間の総雨量109.2mm

(5) 関係市町村 玉名市

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。」  
（承認番号 令和元年度、第160号）」  
国土地理院の電子地形図25000『荒尾』『玉名』『来民』『下沖洲』『伊倉』『楠木』を掲載